

---

---

# Azia'n Transfer /FTPC入門

## FTPクライアント制御機能

---

---



IMAGICAシステムランド

## 目 次

1	Azia'n Transfer/FTPC(クライアント)に触れる前に .....	4
1.1	Azia'n Transfer/FTPC(クライアント)とは? .....	4
1.2	Azia'n Transfer/FTPC の構成.....	4
1.3	Azia'n Transfer/FTPC の特徴 .....	5
1.3.1	ホストコンピュータ側業務とパソコン側業務との仲立 .....	5
1.3.2	機種種の壁を越えた共通性.....	5
1.3.3	基本操作の統一.....	5
1.3.4	Azia'n Transfer と Azia'n Transfer/FTP の違い.....	6
2	環境設定.....	7
2.1	ACOS 側で相手 FTPサーバ-動作端末環境を登録する .....	7
2.1.1	加入者情報メンテナンス画面を表示する .....	7
2.1.2	加入者情報メンテナンス画面からFTPサーバ端末を登録する.....	8
☺	FTPサーバ動作端末登録をもっと簡単に! .....	9
2.1.3	送受信端末情報メンテナンス画面を表示する .....	10
2.1.4	送受信端末情報メンテナンス画面からFTPサーバ動作端末の情報を登録する .....	10
2.1.5	端末情報メンテナンス(拡張情報)画面を表示する .....	11
2.1.6	端末情報メンテナンス(拡張情報)画面からFTPサーバ端末情報を登録する .....	11
☺	属性情報 (FTPサーバ端末のディレクトリ認識スタイル定義) .....	12
☺	オプション情報 (FTPサーバ ログイン操作のFTPコマンド記述) .....	13
☺	Windows95 上でのFTPサーバ-機能とは.....	15
3	基本操作.....	16
3.1	V I S オンライン指示によるAzia'n Transfer/FTP 受信.....	16
3.1.1	ACOSの業務データをAzia'n Transferへ登録する .....	17
3.1.2	Azia'n Transfer/FTPを使ってテキストデータをパソコンに受信する.....	18
3.1.3	テキストデータ受信中の画面とその確認 .....	19
3.1.4	受信した情報を表計算ソフトで開く.....	19
3.2	V I S オンライン指示によるAzia'n Transfer/FTP 送信.....	20
3.2.1	表計算ソフトで作成されたデータをテキスト形式で保存する .....	20
3.2.2	テキストデータをAzia'n Transfer/FTPを使ってACOSに送信する .....	21
3.2.3	テキストデータ送信中の画面とその確認 .....	22
3.2.4	ACOSに送信・格納されたデータを取り出し業務で利用する.....	23
3.3	バッチ指示によるAzia'n Transfer/FTP 受信.....	24
3.3.1	バッチ処理からAzia'n Transfer/FTP 転送指示と受信を行う.....	24
3.4	バッチ指示によるAzia'n Transfer/FTP 送信.....	25
3.4.1	バッチ処理からAzia'n Transfer/FTP 転送指示と送信を行う.....	25

4 最後に ..... 27

# 1 Azia'n Transfer/FTPC(クライアント)に触れる前に

## 1.1 Azia'n Transfer/FTPC(クライアント)とは?

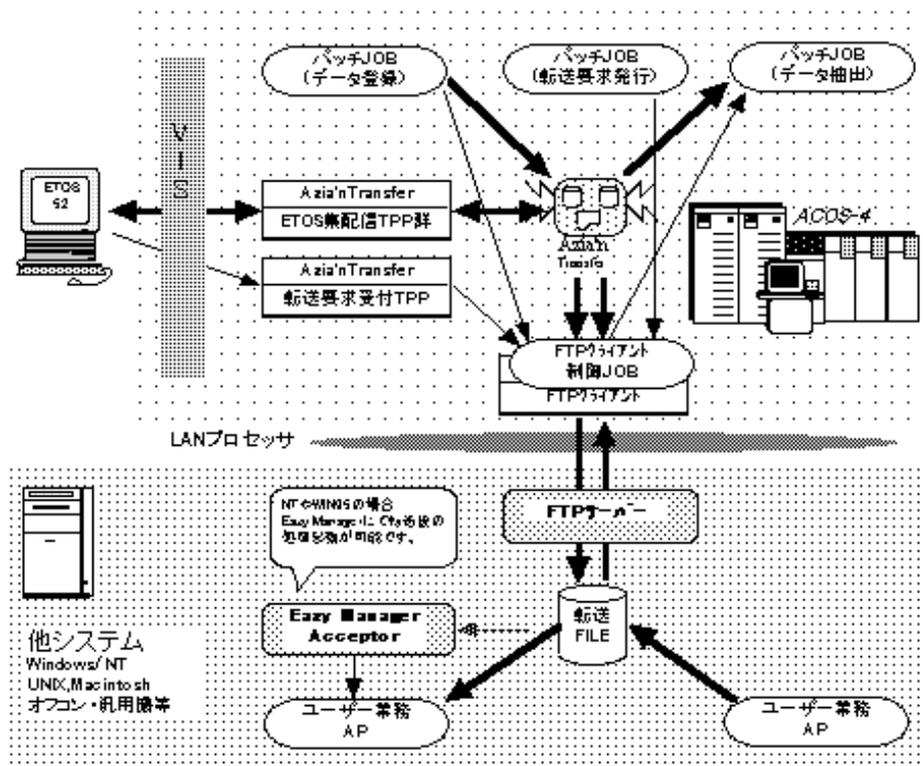
「Azia'n Transfer/for FTP」は「Azia'n Transfer」の持つ柔軟な転送機能や転送データ管理機能をそのまま生かしつつ、転送プロトコルとしてFTPを利用可能にする追加サブシステムです。

本サブシステムは、「Azia'n Transfer」をUXNET- を利用して機能強化する「Azia'n Socks」と呼ばれる製品体系の中の1コンポーネントとして提供されます。

本サブシステムを利用することにより従来のETOS端末に対する場合と同等の、運用性及び耐更性に優れたインターフェースでACOS側FTPクライアントによるファイル転送を実現することが可能になります。

## 1.2 Azia'n Transfer/FTPCの構成

Azia'n Transfer/FTPCが動く環境として、基本的なハードウェアの構成を示します



## 1.3 Azia'n Transfer/FTPの特徴

Azia'n Transfer/FTPの特徴はいろいろあります。その中からいくつか挙げてみましょう。

### 1.3.1 ホストコンピュータ側業務とパソコン側業務との仲立

現在お持ちのホストコンピュータの情報をパソコン側に渡したり、パソコンで持つ情報をホストコンピュータに渡したりする場合に、引き渡し側主導による受け取り側ホストコンピュータ業務またはパソコン業務へ、連携処理の仲立をしてくれます。

例えばホストコンピュータ側からサーバーへデータを受信要求するだけでサーバー側の業務を自動起動することができます（注1）。また、その逆にサーバー側の業務で作成されたデータを作成完了と同時に送信要求し、ホストコンピュータ側ではその送信完了を待ってホスト業務処理を起動することができます（注2）。

注1 サーバ側業務処理起動はEazyManager/Accepterの機能です。

注2 ホスト業務処理起動はAzia'n Transferの機能です。

### 1.3.2 機種のを越えた共通性

現在、様々なメーカーからパソコンが発売されています。しかし、Azia'n Transfer/FTPは原則としてどのメーカーのパソコンでもFTPサーバが動いているパソコン、サーバーなら、使うことができます。例えば、今まで利用していたやDOS,DOS/V,UNIX,Express,OP-X,・・・等々でもパソコンと同じ操作方法で同じ情報交換のサービスが受けられます。また、情報系端末の持つ情報（例えばLANPLANで作成した表データ）をパソコンのEXCELやLOTUS1-2-3でも利用したい場合にもA C O Sをゲートウェイとして、簡単に情報交換ができます。（注：情報系の端末（N5200,S3100など）の場合にはAzia'n Transfer/ETOS機能を利用します。）



### 1.3.3 基本操作の統一

どのパソコン・端末でも、基本的な操作の方法が統一されています。例えば「PC98」と「N5200」は異なるコンピュータですが、共通してV I SのT P P又はF T Pクライアントをエンジンにしているためメニューの表示やマウスの使い方等、基本的な操作の方法は同じです。はじめて使うコンピュータでもある程度操作方法を予測することができます。また、画面がビジュアルにできているので直感的で、かつ試行錯誤しながら操作することができます。新たにF T Pの知識が要求されることはありません。

#### 1.3.4 Azia'n TransferとAzia'n Transfer/FTPの違い

これまでご説明したAzia'n Transfer/FTPですが「Azia'n TransferとAzia'n Transfer/FTPはどこが違うの?」と思われるでしょう。実のところ操作性はほとんど変わりません。ですがAzia'n Transferでは通信媒介をETOSエミュレータとしているのに対し、Azia'n Transfer/FTPはACOSのFTPクライアント機能を利用している点にあります。

それではこれにより何が出来るのか。以下にいくつかあげてみましょう。

ETOSエミュレータでの転送速度に比べ数十倍の高速転送パフォーマンスを得ることができます。

操作性の困難なFTPクライアントのオペレーション操作を一切必要とせず、全てAzia'n Transfer/ETOS機能の運用と変わらない運用方法で利用できます。

VIS業務が停止している間でも転送することができるようになります。

オンライン端末登録(ADL,NDL,TNDL,VDLなど)の必要がないため、導入直後からこのサービスを利用できます。(既にインフラが整っていることが前提です。)

このようにAzia'n Transferの弱点をカバーし、これまでのAzia'n Transferの運用と変わらないサービスをご提供することができるようになりました。

Azia'n Transfer/FTP (FTPクライアント機能) はLANプロセッサを有するお客様のみご利用頂けます。

## 2 環境設定

Azia'n Transfer/FTPC では、ご利用頂く前にホスト側で相手の FTP サーバに対する幾つかの環境設定が必要となります。ここでは Azia'n Transfer/FTPC と基本的に管理が同じである WindowsNT Ver4.0 及び Windows95 を例に取りご説明致します。

尚、相手の FTP サーバはこれ以外にも UNIX, 別ホスト, ... 等様々な相手が考えられます。FTP に関するサポートが必要な場合には弊社担当 SE までご連絡下さい。

### 2.1 ACOS側で相手FTPサーバ-動作端末環境を登録する

#### 2.1.1 加入者情報メンテナンス画面を表示する

「Azia'n Transfer Menu」から加入者情報メンテナンス画面を表示してみましょう。「番号 ==>」にカーソルを合わせて”70”を入力し実行キーを押すと「加入者情報メンテナンス画面」が表示されます。

ETOS-JX(acos4)

送信(C) セクション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(D)  
マクロ(M) オプション(O) ヘルプ(H)

AZ10A0 加入者情報 メンテナンス 頁No 97-03-21 13:31:39

=>

0:表示 R:[加入者CD]:読込 1:[頁No]:改頁 W:[加入者CD]:書込 D:削除  
F:次ページ位置付け 3:詳細情報 7:操作説明 9:終了

加入者コード: \_\_\_\_\_  
加入者名称: \_\_\_\_\_  
加入者種別: \_\_\_\_\_ (\*:共有加入者 T:端末側加入者 H:ホスト側加入者)  
フェック区分: \_\_\_\_\_ (P:利用者アクセス権 T:端末アクセス権 B:双方 N:フェック無し)  
アクセス権ID: \_\_\_\_\_ (所属対象端末に適用されるアクセス権ID)

●所属送受信用端末情報 端末種別既定値→

No.	端末ID	S									

●所属プリンタ端末情報 プリンタ種別既定値→

No.	プリンタID	S									

=> (共有指定 \*:共有プリンタ)

R 入力可 TCP/IP  
ETOS-JX Ver2.0 (05.01)

## 2.1.2 加入者情報メンテナンス画面からFTPサーバ端末を登録する

既に存在する加入者に対してFTPサーバ動作端末を登録する場合には対象となる加入者を呼び出します。次に所属送受信端末欄にFTPサーバ動作端末を入力後、「=>」の位置で"W"を入力して実行を押下します。新たに加入者情報を登録する場合には加入者名称、所属送受信端末情報（FTPサーバ動作端末）、端末種別既定値（"PFS"or"UFS"）、を入力した後、「=>」の位置で"W 加入者コード"を入力して実行を押します。いずれも画面下に「加入者情報のメンテナンスを行いました。」というメッセージが表示されれば登録処理は正常終了しました。これ以外のメッセージが表示された場合には指示に従い修正してください。

ここでは予め存在する加入者に対して登録するため、既定値は変更しません

FTPサーバ-端末種別既定値  
USF:UNIX系端末  
PSF:その他(PC)端末

ここでは既に存在する"KAIKATSU2"という加入者に対して"NTSVR1"という名前でFTPサーバ端末を新たに登録しています。尚、FTPサーバ動作端末の端末IDは何でも構いませんがV I Sで定義されている端末IDと重複しない名前登録をお勧めします。

**POINT** <加入者情報メンテナンス画面>

☺ FTP サーバ動作端末登録をもっと簡単に！

通常 Azia'n Transfer 本体のオンライン端末登録では、この「加入者情報メンテナンス」画面から登録するだけで十分です。しかし FTP サーバ端末の登録など、より細かな設定が必要な端末の場合に、いちいちメインメニューまで戻り「送受信端末情報メンテナンス」画面を表示してメンテナンスをしなければなりません。

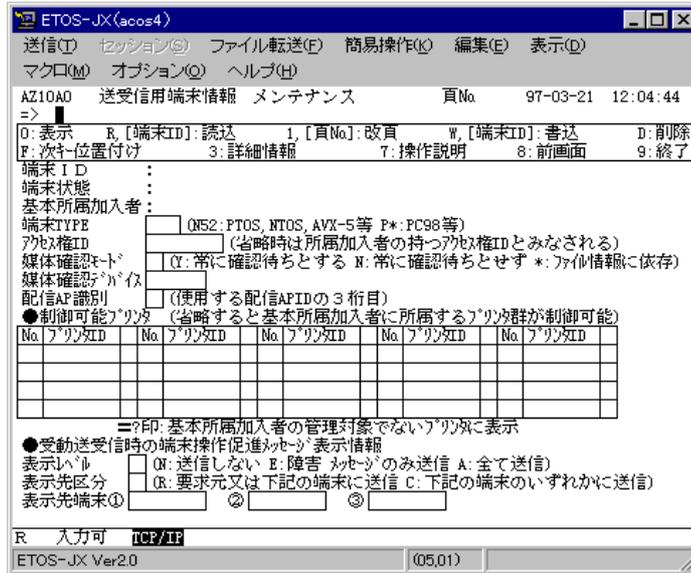
「加入者情報メンテナンス」画面ではより効率よく運用して頂くために、加入者情報メンテナンス画面から端末の登録を行った後、この画面から直接「送受信端末情報メンテナンス」画面とその内容を表示することができます。

「=>」の位置で”3”を入力し、カーソルをメンテナンスしたい端末に合わせて実行キーを押下することにより「送受信端末情報メンテナンス」画面と内容をを直接呼び出すことができます。

尚、呼び出した「送受信端末情報メンテナンス」画面では「=>」の位置で”8”を入力し実行キーを押すことにより元の「加入者情報メンテナンス」画面に戻ります。

### 2.1.3 送受信端末情報メンテナンス画面を表示する

「Azia'n Transfer Menu」から送受信端末情報メンテナンス画面を表示してみましょう。「番号=>」にカーソルを合わせて「71」を入力し実行キーを押すと「送受信端末情報メンテナンス画面」が表示されます。当画面から新規登録した場合には加入者情報との関連付けをする必要があります。加入者情報メンテナンス画面から修正して下さい。



### 2.1.4 送受信端末情報メンテナンス画面からFTPサーバ動作端末の情報を登録する

端末 ID, 端末 TYPE, 配信 AP 識別を入力の後、「=>」の位置で「W 端末 ID」を入力して実行を押します。画面下に「端末情報メンテナンスを行いました。」というメッセージが表示されれば登録処理は正常終了しました。これ以外のメッセージが表示された場合には指示に従い修正して下さい。尚、加入者情報メンテナンス画面から詳細情報指示により当画面を表示した場合には更新となります。端末 TYPE, 配信 AP 識別を修正して下さい。

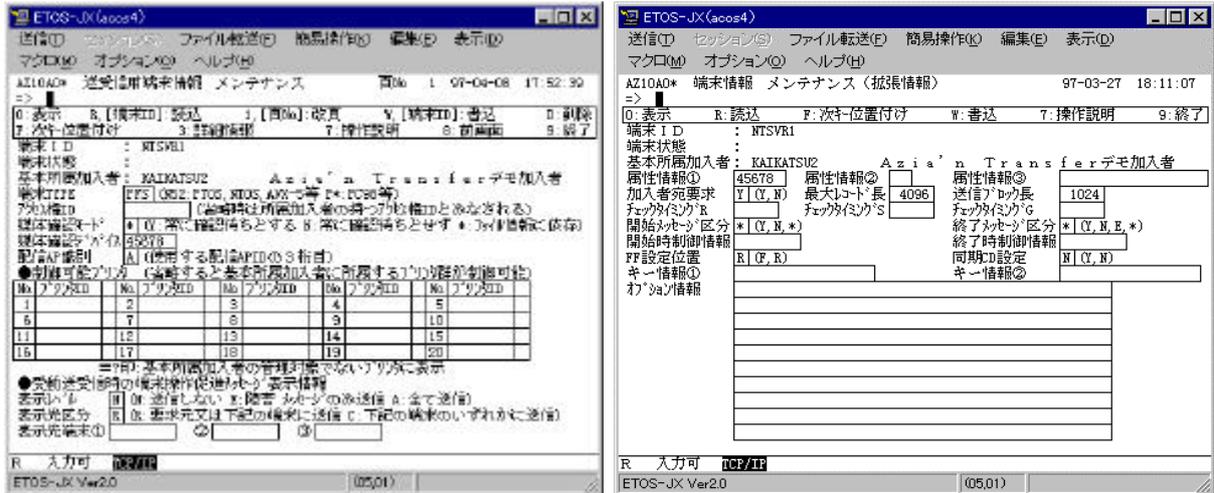


FTPサーバ-端末種別既定値  
USF:UNIX系端末  
PSF:その他(PC)端末

### 2.1.5 端末情報メンテナンス（拡張情報）画面を表示する

FTP サーバ端末情報を登録する場合、通常のオンライン端末定義手順の他に「端末情報メンテナンス（拡張情報）」画面から各種詳細情報を登録する必要があります。

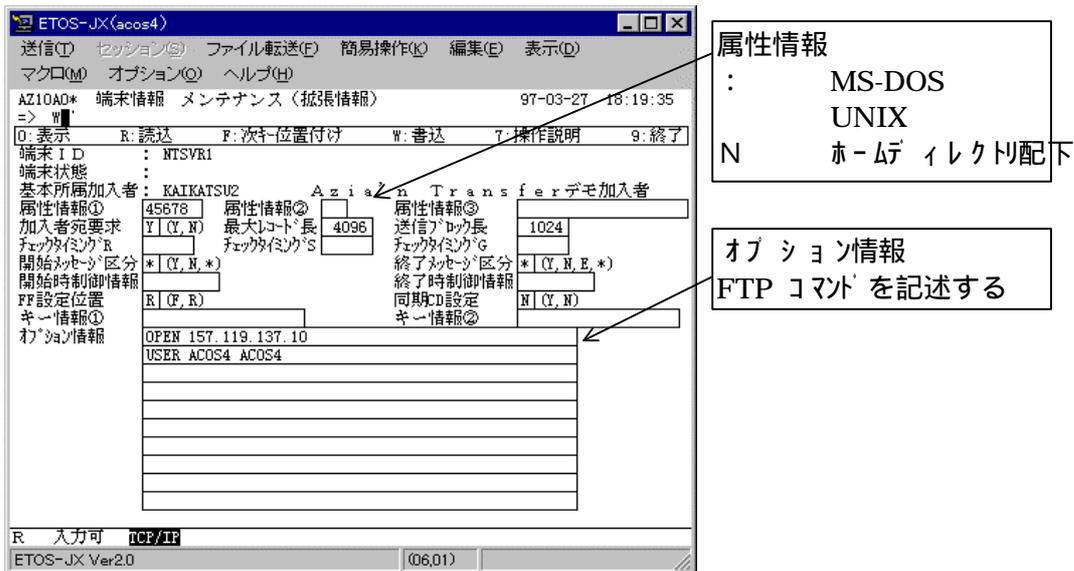
送受信端末情報メンテナンス画面から端末情報メンテナンス（拡張情報）画面を表示してみましょう。「送受信端末情報メンテナンス」画面から先程登録した内容を表示して下さい。次に内容が表示されている状態から キーを押すと端末情報メンテナンス（拡張情報）画面が表示されます。



キー押下

### 2.1.6 端末情報メンテナンス（拡張情報）画面からFTPサーバ端末情報を登録する

属性情報，オプション情報を入力した後、「=>」の位置で“W”を入力して実行を押します。画面下に「端末情報メンテナンスを行いました。」というメッセージが表示されれば登録処理は正常終了しました。これ以外のメッセージが表示された場合には指示に従い修正して下さい。



**POINT** <端末情報メンテナンス(拡張情報)画面 - 属性情報 - >

☺ 属性情報 (FTP サーバ端末のディレクトリ認識スタイル定義)

冒頭で Azia'n Transfer/FTP を利用する場合には特別な知識は必要ありませんと述べました。

しかしながら、システムセットアップ時にはわずかですが接続するために必要最低限の情報登録が必要となります。

これは FTP サーバの初期設定時のみ必要となる作業ですので、システムを管理される方は FTP サーバの登録(ホスト識別名又はホスト IP アドレス)、接続ユーザ認証(ユーザ ID, ユーザパスワード)、ディレクトリ認識スタイル、など、TCP/IP プロトコルを使って FTP 機能の利用する場合の必要上条件であることをご理解下さい。

Azia'n Transfer/FTP ではこの FTP サーバのディレクトリ認識スタイルを端末情報メンテナンス(拡張情報)画面の属性情報 欄の 1 桁目に登録します。

それでは次に相手 FTP サーバで利用されているディレクトリ認識スタイルとその意味を述べてみましょう。

- ディレクトリの認識スタイル指定 -

**DOS的に管理されている場合**

“ : ” ... コロンを設定します。

FTP サーバの環境設定にもよりますが WindowsNT3.51 の場合にはこれに該当します。

実際のパス ... “ C : / ”

**UNIX的に管理されている場合**

“ \_ ” ... スペースを設定します。

FTP サーバの環境設定にもよりますが WindowsNT4.0, unix の場合にはこれに該当します。

実際のパス ... “ / C : / ”

**その他の場合**

“ N ” ... Nを設定します。

FTP サーバの環境設定にもよりますがルートディレクトリ配下を利用する場合にはこれに該当します。

実際のパス ... “ / ”

## **POINT** <端末情報メンテナンス（拡張情報）画面 - オプション情報 ->

### ☺ オプション情報（FTP サーバ ログイン操作の FTP コマンド記述）

属性情報 に続いて Azia'n Transfer/FTP では相手 FTP サーバに対する FTP ログインコマンドを端末情報メンテナンス（拡張情報）画面のオプション情報欄に予め登録します。登録して頂くコマンドは FTP サーバへのログインコマンドのみです。

ここで登録された FTP コマンドを使って Azia'n Transfer/FTP では相手 FTP サーバに対してログイン操作を行います。

それでは以下に Azia'n Transfer/FTP を利用する場合の必要となる基本的なコマンドとその意味を記述してみましよう。

#### **リモートホストと接続する（必須）**

OPEN host[port]

host : (文字列 128 桁以内)

接続するリモートホスト名を指定する。ネットワークへに該当ホストが登録済みであればホスト識別名を指定することができる。

port : (10 進数 5 桁以内 1~65534)

接続するリモートサーバのポート番号を指定する。

#### **動作環境設定コマンドによる相手ホスト大小文字変換指定（任意）**

/SG SCHARMD=NO

YES : 大小文字に変換して送信する（既定値）。

NO : 変換せずそのまま出力する

相手ホストで管理されているユーザ ID 等が大文字で登録されている場合には必ず指定する必要があります。

#### **リモートホストにログインする（必須）**

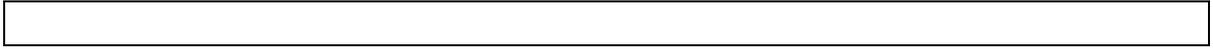
USER username[password[account]]

username : リモート上で定義されている利用者を指定する

password : 利用者名に対するパスワードを指定する。

Account : 利用者名に対する課金単位名を指定する。

この他にも FTP クライアントでは様々なコマンドが用意されていますが、相手 FTP サーバが特別な環境になっていない限り必要となるコマンドは上記3つとなります。



**POINT** <Windows95上でのFTPサーバ機能を利用する>

☺ Windows95上でのFTPサーバ機能とは

PWS(Microsoft Personal Web Server version 1.0 for Windows95 マイクロソフト パーソナル Web サーバ) は、お使いの Windows 95 を個人的なウェブ用サーバとしてホームページなどの公開を簡単に行えるようにするソフトウェアです。インストールやその管理も簡単なため、PWS をお使いいただくことでイントラネットやインターネットを使うすべてのユーザーが簡単に情報を共有することができます。

HTTP や FTP プロトコルのファイル共有機能がサポートされているため、ピアツーピアネットワークのような手軽さで情報公開が可能です。なお、Microsoft Internet Information Server(IIS、マイクロソフト インターネット インフォメーション サーバ)と同じように、PWS はすべての ISAPI エクステンションや CGI スクリプトをサポートしていますが、Windows 95 のようなワークステーション向けに設計されているため、IIS のような汎機能をもったウェブサーバシステムのようなリソースを必要としないのも特長です。

もし、ウェブサーバシステムに将来的な拡張が必要でしたら、Windows NT Serverのようなパワフルでエンタープライズ仕様の、インターネット・イントラネットウェブサーバ製品をご利用ください。マイクロソフトは Windows NT上で全領域をサポートする製品群を提供しています。

Windows95 FTPサーバはMicrosoftのホームページ上で無償ダウンロードすることができます。 <http://www.microsoft.co.jp/win95/modules/> での最新モジュールご使用条件をご確認ください。



### 3.1.1 A C O Sの業務データをAzia'n Transferへ登録する

A C O Sの業務で利用しているデータをパソコンの表計算ソフトで利用するために一旦Azia'n Transfer システムへ登録します。Azia'n Transfer システムへのデータ登録には専用のJCL (“¥AZFSET”)を利用して登録します。

公用ボリューム(PUBLIC)に “TEXTDATA” という名前で存在するファイルを入力にして加入者 “KAIKATSU2” の ファイル “TEXTFILE” へ格納します。このときに登録するデータ形式がA C O S 内部形式データであるため、プラグインモジュール “AZTXCVAP” を利用してフォーマット変換し、パソコン側の表計算ソフトで利用できる形式に変換したデータを登録します。

```

000010      ¥AZFSET  INFILE=(TEXTDATA PUBLIC )
000020      FLID=TEXTFILE      AKSCD=KAIKATSU2
000030      ATRMID=PCL001      OPMD=N
000040      DSNM=/C6/BASE2.CSV      DV=C
000050      PLUG IN=AZTXCVAP      PLUGPRM=INPFORM
000060      PLUGOPT=(KANJI=KIKO,SEP=CSV,FORMAT=SYSIN);
000070      ¥INPUT  INPFORM;
000080      (X,1,8,N' 1 文字')(N,,5,N' 2 漢字')(9,,5,N' 3 数字')(S9,,5,N' 4 数字')
000090      (X,,8,N' 5 文字')(N,,5,N' 6 漢字')(C3,,5,N' 7 数字')(C2,,N' 8 数字')
000100      ¥ENDINPUT;
    
```

- Azia'n transfer システムへの登録用 JCL -

入力となるファイルのレイアウトは次のような形式です。

1 文字	2 漢字	3 数字	4 数字	5 文字	6 漢字	7 数字	8 数字
X(8)	N(5)	9(5)	S9(5)	X(8)	N(5)	S9(5) COMP-3	COMP-2

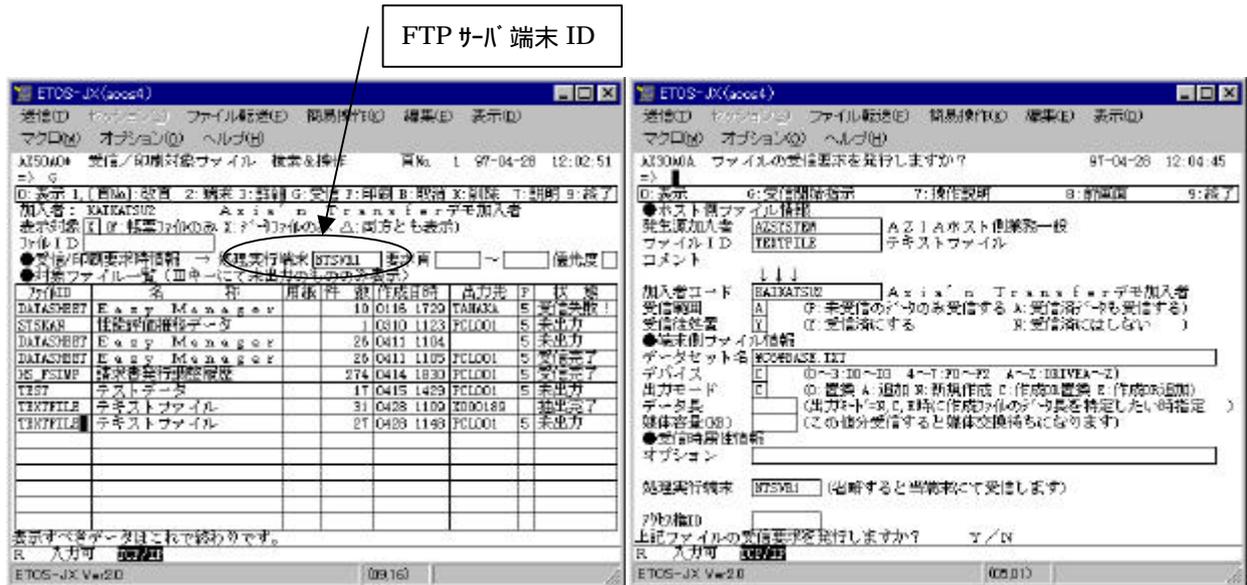
- 登録処理により入力となるファイルイメージ -

¥AZFSET 及びプラグインモジュールの詳細はAzia'n Transfer マニュアルをご覧ください。

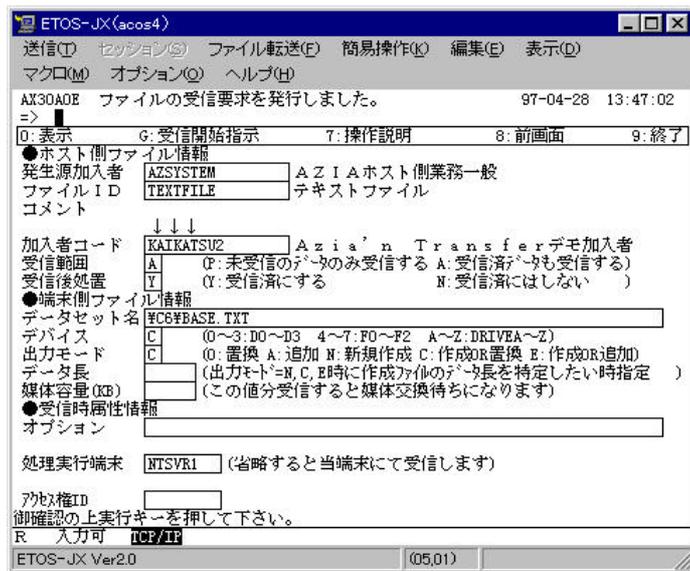


### 3.1.2 Azia'n Transfer/FTP を使ってテキストデータをパソコンに受信する

「Azia'n Transfer Menu」から受信/印刷対象ファイル 検索&操作画面を表示してみましょう。「番号=>」にカーソルを合わせて「1」を入力し実行キーを押すと「受信/印刷対象ファイル 検索&操作画面」が表示されます。次に「番号=>」に「G」と入力し、処理実行端末に前章で登録したFTPサーバ端末のIDを入力します。続いて受信したいファイル明細にカーソルを位置づけて実行キーを押すと「上記ファイル受信要求を発行しますか? Y/N」と聞いてきますので、「Y」を入力すると受信要求の発行が行われます。要求発行後「御確認の上実行キーを押してください。」というメッセージが表示されますので、指示に従い実行キーを押すと「受信/印刷対象ファイル 検索&操作画面」に戻ります。



- 受信/印刷対象ファイル 検索&操作画面 -      - ファイル受信要求画面 -



- 処理要求後確認画面 -

### 3.1.3 テキストデータ受信中の画面とその確認

テキストデータの監視は「受信/印刷対象ファイル 検索&操作画面」から行います。表示される状態は「受信要求中」「受信済」というメッセージが表示され、受信処理が終了すると「受信完了」と表示されます。

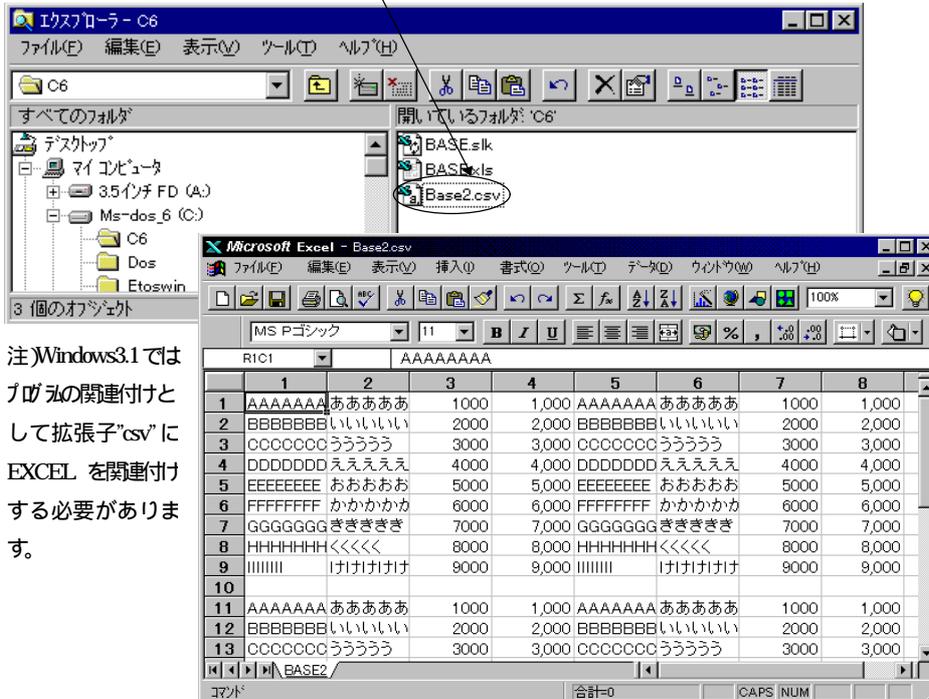


注意 実行キーを押すことにより状態が変化の様子が分かります。

### 3.1.4 受信した情報を表計算ソフトで開く

受信した情報を表計算ソフトで開いてみましょう。

1. BASE2.CSV を選択しダブルクリックする



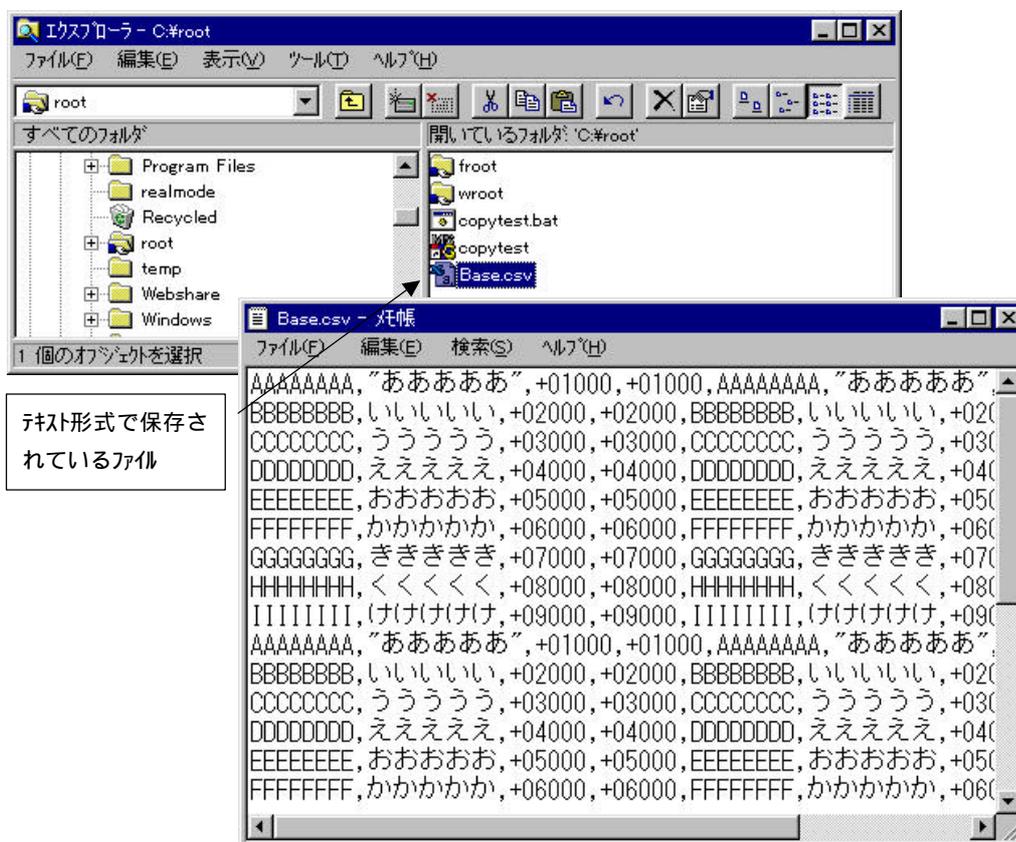
注)Windows3.1では  
p07の関連付けと  
して拡張子'csv'に  
EXCEL を関連付け  
する必要がありま  
す。

## 3.2 V I S オンライン指示によるAzia'n Transfer/FTP送信

V I S オンライン画面の指示から Azia'n Transfer/FTP を転送媒介としたデータ送信を行ってみましょう。送信の場合のV I S オンライン画面とは Azia'n Transfer メニューの「ファイルの送信」のことを指します。ここでも Azia'n Transfer/FTP 機能を利用する場合にはこの画面の「処理実行端末」がキーとなります。

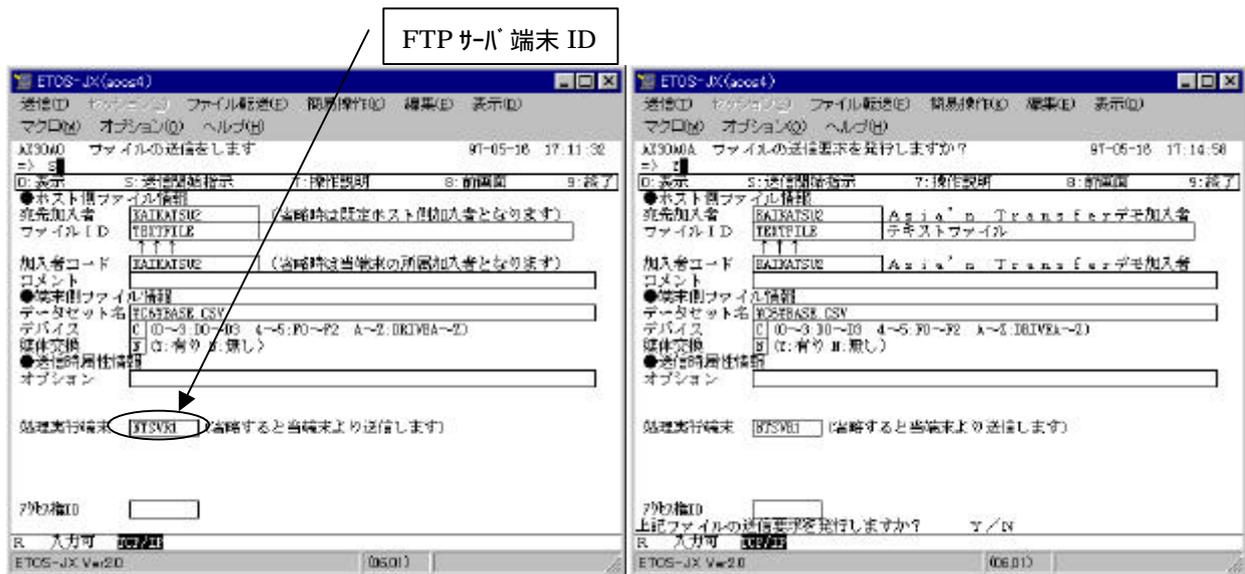
### 3.2.1 表計算ソフトで作成されたデータをテキスト形式で保存する

表計算ソフトで作成された情報をテキスト形式(CSV 又は TXT)に変更して保存します。



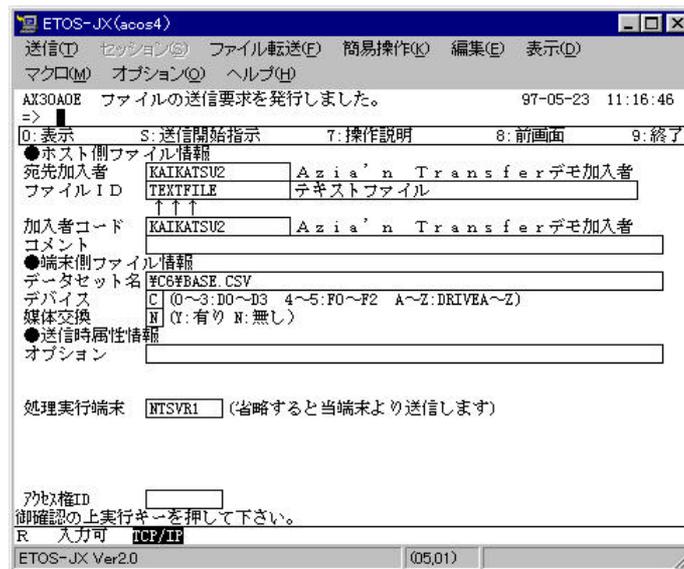
### 3.2.2 テキストデータをAzia'n Transfer/FTPを使ってA C O Sに送信する

「Azia'n Transfer Menu」からファイルの送信画面を表示してみましょう。「番号=>」にカーソルを合わせて「20」を入力し実行キーを押すと「ファイルの送信画面」が表示されます。次に=>に「S」を入力し必要項目に値を入力した後、最後に「処理実行端末」にFTPサーバ端末のIDを入力し、Azia'n Transfer/FTP転送指示の宣言を行います。この状態で実行キーを押すと「上記ファイルの送信要求を発行しますか？ Y/N」を聞いてきますので「Y」を入力するとAzia'n Transfer/FTPによる送信が始まります。要求発行後「御確認の上実行キーを押してください。」というメッセージが表示されますので、指示に従い実行キーを押すと「Azia'n Transfer Menu 画面」に戻ります。



- ファイルの送信画面 -

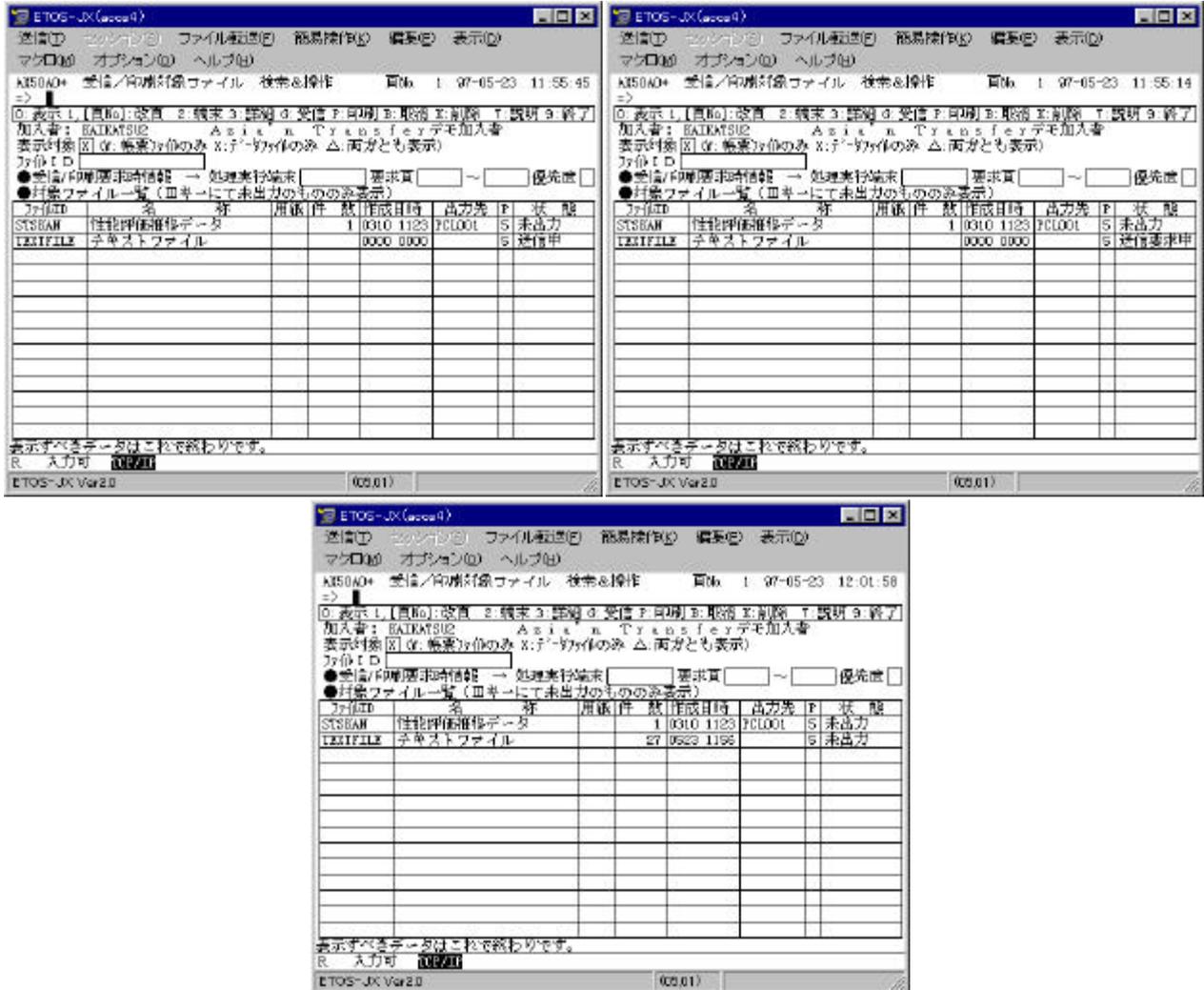
- 送信要求画面 -



- 処理要求後確認画面 -

### 3.2.3 テキストデータ送信中の画面とその確認

テキストデータの監視は「受信/印刷対象ファイル 検索&操作画面」から行います。表示される状態は「送信要求中」「送信中」というメッセージが表示され、送信処理が終了すると「未出力」と表示されます。



注意 実行キーを押すことにより状態が変化する様子が分かります。

### 3.2.4 A C O S に送信・格納されたデータを取り出し業務で利用する

パソコン及び端末から A C O S に送信・格納されたテキストデータを A C O S 業務処理で利用するために取り出してみましよう。Azia'n Transfer システムからのデータ取り出しには専用の J C L ("¥AZFGET")を利用して取り出します。

加入者 "KAIKATSU2" に登録されている ファイル "TEXTFILE" を取り出し、公用ボリューム (PUBLIC)に "TEXTDATA" という名前で出力します。このときに取り出すデータ形式が区切り文字付きテキストデータであるため、プラグインエンジン "AZTXCVPA" を利用してフォーマット変換し、業務処理で利用できる形式に変換したデータを出力します。

このように Azia'n Transfer/FTP を利用した場合でも抽出の段階では ETOS で送信した場合の抽出方法と変わらないことがわかります

000010	¥AZFGET	OUTFILE=(TEXTDATA PUBLIC SIZE=1)
000020		FLID=TEXTFILE AKSCD=KAIKATSU2
000030		PLUGIN=AZTXCVPA PLUGPRM=INPFORM
000040		PLUGOPT=(KANJI=KIKO,SEP=CSV,FORMAT=SYSIN);
000050	¥INPUT	INPFORM;
000060		(X,1,8,N'1文字')(N,,5,N'2漢字')(9,,5,N'3数字')
000070		(S9,,5,N'4数字')(X,,8,N'5文字')(N,,5,N'6漢字')
000080		(C3,,5,N'7数字')(C2,,5,N'8数字')
000090	¥ENDINPUT;	

- Azia'n transfer システムからの取り出し用 JCL -

出力されるファイルのレイアウトは次のような形式で出力されます。

1 文字	2 漢字	3 数字	4 数字	5 文字	6 漢字	7 数字	8 数字
X(8)	N(5)	9(5)	S9(5)	X(8)	N(5)	S9(5) COMP-3	COMP-2

- 取り出し処理により作成されるファイルアウトイメージ -

¥AZFGET 及びプラグインエンジンの詳細は Azia'n Transfer マニュアルをご覧ください。

「受信 / 印刷対象ファイル 検索 & 操作画面」では状態が未出力から抽出完了へと変化します。

### 3.3 バッチ指示によるAzia'n Transfer/FTP受信

バッチ処理の指示から Azia'n Transfer/FTP を転送媒介としたデータ受信を行ってみましょう。バッチ処理から指示する場合、V I S オンラインとは全く独立して動作します。このため V I S オンライン業務が停止している状態でも A C O S からデータを P C に送り込むことができます。

但し、転送状況の確認を行う場合には V I S オンライン業務が必要になります。

#### 3.3.1 バッチ処理からAzia'n Transfer/FTP転送指示と受信を行う

A C O S の業務で利用しているデータをパソコンの表計算ソフトで利用するために一旦 Azia'n Transfer システムへ登録し、続いて P C への受信を行います。Azia'n Transfer/FTP システムでの格納・受信には専用の J C L (“¥AZFSET”)を利用して登録します。

公用ボリューム(PUBLIC)に “TEXTDATA” という名前で存在するファイルを入力にして加入者 “KAIKATSU2” の ファイル “TEXTFILE” へ格納します。このときに登録するデータ形式が A C O S 内部形式データであるため、プラグインモジュール “AZTXCVAP” を利用してフォーマット変換し、パソコン側の表計算ソフトで利用できる形式に変換したデータを登録します。格納完了後は受信処理が開始されます。

000010	¥AZFSET	INFILE=(TEXTDATA PUBLIC )	OUTREQ=YES
000020		FLID=TEXTFILE	AKSCD=KAIKATSU2
000030		ATRMID=NTSVR1	OPMD=N
000040		DSNM=/C6/BASE2.CSV	DV=C
000050		PLUGIN=AZTXCVAP	PLUGPRM=INPFORM
000060		PLUGOPT=(KANJI=KIKO,SEP=CSV,FORMAT=SYSIN);	
000070	¥INPUT	INPFORM;	
000080		(X,1,8,N'1文字')(N,,5,N'2漢字')(9,,5,N'3数字')(S9,,5,N'4数字')	
000090		(X,,8,N'5文字')(N,,5,N'6漢字')(C3,,5,N'7数字')(C2,,N'8数字')	
000100	¥ENDINPUT;		

- Azia'n transfer/FTP 受信処理実行 JCL -

入力となるファイルのレイアウトは次のような形式です。

1 文字	2 漢字	3 数字	4 数字	5 文字	6 漢字	7 数字	8 数字
X(8)	N(5)	9(5)	S9(5)	X(8)	N(5)	S9(5) COMP-3	COMP-2

- 登録処理により入力となるファイルアウトイメージ -

ここで Azia'n Transfer/FTP 受信を使う場合のポイントは「配信先端末 ID(ATRMID)」と「配信要求指示(OUTREQ=YES)」です。配信先端末 ID に FTP サーバ 端末 ID を記述することにより FTP 転送指示であることが宣言され、配信要求指示で Azia'n Transfer システム格納後自動的に受信処理が開始されます。

¥AZFSET 及びプラグインエンジールの詳細は Azia'n Transfer マニュアルをご覧ください。

### 3.4 バッチ指示によるAzia'n Transfer/FTP送信

バッチ処理の指示から Azia'n Transfer/FTP を転送媒介としたデータ送信を行ってみましょう。バッチ処理から指示する場合、VIS オンラインとは全く独立して動作します。このため VIS オンライン業務が停止している状態でもACOSからデータをPCに送り込むことができます。

但し、転送状況の確認を行う場合にはVIS オンライン業務が必要になります。

#### 3.4.1 バッチ処理からAzia'n Transfer/FTP転送指示と送信を行う

パソコン及び端末に格納されているデータに対してACOS側指示によりACOSに送信・格納します。更にテキストデータをACOS業務処理で利用するために取り出してみましよう。Azia'n Transfer/FTP システムから送信・格納要求する場合には専用のJCL ("¥AZRECV"), データ取り出しには専用のJCL ("¥AZFGET")を利用して取り出します。

端末に格納されているテキストファイルをホストへの送信要求を発行し、加入者 "KAIKATSU2" に登録します。次に加入者 "KAIKATSU2" に登録されているファイル "TEXTFILE" を取り出し、公用ボリューム(PUBLIC)に "TEXTDATA" という名前で出力します。このときに取り出すデータ形式が区切り文字付きテキストデータであるため、プラグインエンジール "AZTXCVPA" を利用してフォーマット変換し、業務処理で利用できる形式に変換したデータを出力します。

このように Azia'n Transfer/FTP を利用した場合でも抽出の段階ではETOSで送信した場合の抽出方法と変わらないことがわかります

```

000010      ¥AZRECV  WAIT=YES
000020          FLID=TEXTFILE          AKSCD=KAIKATSU2
000030          HKSCD=KAIKATSU2        RTRMID=NTSVR1
000040          DSNM=/C6/BASE2.CSV     DV=C;
000010      ¥AZFGET  OUTFILE=(TEXTDATA PUBLIC SIZE=1)
000020          FLID=TEXTFILE          AKSCD=KAIKATSU2
000030          PLUGIN=AZTXCVPA        PLUGPRM=INPFORM
000040          PLUGOPT=(KANJI=KIKO,SEP=CSV,FORMAT=SYSIN);
000050      ¥INPUT   INPFORM;
000060      (X,1,8,N'1文字')(N,,5,N'2漢字')(9,,5,N'3数字')
000070      (S9,,5,N'4数字')(X,,8,N'5文字')(N,,5,N'6漢字')
000080      (C3,,5,N'7数字')(C2,,5,N'8数字')
000090      ¥ENDINPUT;

```

- Azia'n transfer システムからの取り出し用 JCL -

出力されるファイルのレイアウトは次のような形式で出力されます。

1 文字	2 漢字	3 数字	4 数字	5 文字	6 漢字	7 数字	8 数字
X(8)	N(5)	9(5)	S9(5)	X(8)	N(5)	S9(5) COMP-3	COMP-2

- 取り出し処理により作成されるファイルアウトイメージ -

ここで Azia'n Transfer/FTP 送信を使う場合のポイントは「集信元端末 ID(RTRMID)」と「集信処理完了待ち(WAIT=YES)」です。集信元端末 ID に FTP サーバ 端末 ID を記述することにより FTP 転送指示であることが宣言され、Azia'n Transfer システムへの送信処理が開始されます。

また、「集信処理完了待ち(WAIT=YES)」を記述することにより¥AZRECV の完了後、後に続く ¥AZFGET に即処理が移らないように待ち合わせ制御が行われます。

¥AZRECV, ¥AZFGET 及びプログラム 変数の詳細は Azia'n Transfer マニュアルをご覧ください。

## 4 最後に

---

最後に Azia'n Transfer/FTP 機能では転送状況を把握するため、V I S オンライン画面のほかに FTP クライアント機能 ( コマンド ) の 1 つである verbose モードを ON にしてプロトコルメッセージ, 統計情報, 発行コマンド, 転送履歴ファイルなどを出力しています。環境設定上の不具合により転送が失敗する場合にはこのステータスファイルを参照して原因を調査して下さい。

それでは以下にステータスファイルの作成規則を記述します。

### ステータスファイル

ステータスファイルは¥AZFSET, ¥AZFGET を実行すると Azia'n Transfer/FTP システム側で自動起動される FTP クライアントジョブで作成されるファイルです。

FTP クライアントジョブ : J A Z \_ 1 F T P C \_ 1

V I S オカレンス

マルチジョブ S E Q

~~\_S T S : プロトコルメッセージ  
~~\_C M D : 発行コマンド  
~~\_P R T : 統計情報  
~~\_T R N F : 転送履歴ファイル

~~ は端末 I D 又は FTP クライアントジョブ名で作成されます。

ステータスファイルの格納ライブラリ, 命名規則はシステムセットアップ時に決めておりますので必要な場合には弊社担当 S E までご連絡下さい。